

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議 長	副議長	局 長	次 長	主 査	担 当	担 当	文書取扱主任		

第 17 回 総務文教常任委員会 会議録

開催年月日	平成 24 年 8 月 23 日（木曜日）	開会 13 時 32 分	閉会 16 時 17 分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	大谷、井上、渡辺精郎、水口、渡邊龍之、柴田	事務局	菊井次長
	委員外～清水、木下、山本、窪之内		橋本主査
欠席委員	なし		
説明員	別紙のとおり		
議 件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。		
	○ 新滝川市活力再生プラン平成 23 年度実績報告及び最終報告について（総括説明）		
	（1）新滝川市活力再生プラン平成 23 年度実績報告及び最終報告について（市民生活部）		
	（2）公の施設の指定管理者の公募について		
	（3）新滝川市活力再生プラン平成 23 年度実績報告及び最終報告について（総務部）		
	（4）地域主権改革一括法の施行に伴う関係条例の制定改廃について		
	（5）中空知広域圏戸籍システム共同運用について		
	（6）滝川市防災会議条例及び滝川市災害対策本部条例の一部改正について		
	（7）民間シンクタンク「たきかわ未来会議」の設置について		
	（8）補正予算（ウエルカムプロジェクト）について		
	（9）財政健全化指標について		
	（10）新国際交流員着任の紹介		
	（11）JICAベトナム農村振興研修員の来滝について		
	（12）新滝川市活力再生プラン平成 23 年度実績報告及び最終報告について（教育部）		
	（13）教育部補正予算について		
	（14）専決処分について（損害賠償額の決定）		
	（15）専決処分について（滝川市立開西中学校改築工事に係る工事請負契約の変更）		
	（16）いじめに関するアンケート調査の結果について		
	（17）外国語指導助手（ALT）の新採用について		
	（18）車両損害事故について		
	（19）國學院大學陸上競技部駅伝チーム滝川合宿について		
	（20）スポーツクラブサンテのオープンについて		
	2. 第 3 回定例会以降の調査事項について		
	別紙調査項目のとおり決定した。		

議 事 の 概 要	3. その他について なし
	4. 次回委員会の日程について
	正副委員長に一任することとした。
上 記 記 載 の と お り 相 違 い。 総務文教常任委員長 大 谷 久 美 子 ㊞	

平成24年8月21日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長 前 田 康 吉
滝川市教育委員会委員長 若 松 重 義

総務文教常任委員会への説明員の出席について

平成24年8月3日付け滝議第45号で通知がありました総務文教常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願い申し上げます。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願い申し上げます。

記

滝川市長の委任を受けた者

総務部長	山 崎 猛
総務部参事	伊 藤 克 之
総務部参事	千 田 史 朗
総務部総務課長	田 中 嘉 樹
総務部総務課法制文書室長	横 山 浩 丈
総務部総務課法制文書室主査	壽 崎 行 洋
総務部総務課防災危機対策室長	松 澤 公 和
総務部総務課防災危機対策室副主幹	橋 本 正 明
総務部総務課情報化推進室長	田 上 智 章
総務部総務課情報化推進室主任主事・技師	安 田 健 二
総務部企画課副主幹	稲 井 健 二
総務部企画課主査	大 橋 晃 久
総務部企画課主任級主事	高 嶋 秀 治
総務部国際課長	山 内 康 裕
総務部国際課主任級主事	山 本 亜希子
総務部国際課主事	里 村 真 紀
総務部財政課長	高 橋 一 美
総務部財政課主幹	橋 本 啓 二
総務部財政課副主幹	堀 勝 一
総務部財政課副主幹	景 由 隆 寛
総務部財政課ストックマネジメント推進室主査	高 橋 伸 明
市民生活部長	庄 野 雅 洋
市民生活部税務課長	鎌 田 清 孝
市民生活部税務課副主幹	越 前 充
市民生活部江部乙支所長	井 上 傑 博
建設部建築住宅課主幹	伊 藤 和 博

滝川市教育委員会委員長の委任及び滝川市長の委嘱を受けた者

教育部長	舘 敏 弘
------	-------

教育部次長
教育部指導参事
教育部学校教育課長
教育部学校教育課新しい学校づくり推進室長
教育部学校教育課新しい学校づくり推進室主査
教育部教育支援課長
教育部滝川西高等学校事務局長
教育部社会教育課長
教育部社会教育課副主幹

河 野 敏 昭
四十九院 正満
中 川 啓 一
鳩 山 稔
酒 井 智 康
吉 川 修
赤 松 恒 夫
竹 谷 和 徳
吉 住 晴 美

(総務部総務課総務グループ)

第17回 総務文教常任委員会

H24. 8. 23 (木) 午後1時30分
第一委員会室

- 開 会
- 委員長挨拶（委員動静）

1. 所管からの報告事項について

- 新滝川市活力再生プラン平成23年度実績報告及び最終報告について (資 料)総 務 部
(総括説明)

《市民生活部》

- (1) 新滝川市活力再生プラン平成23年度実績報告及び最終報告について (資 料)市民生活部
- (2) 公の施設の指定管理者の公募について (資 料)江部乙支所

《総 務 部》

- (3) 新滝川市活力再生プラン平成23年度実績報告及び最終報告について (資 料)総 務 部
- (4) 地域主権改革一括法の施行に伴う関係条例の制定改廃について (資 料)総 務 課
- (5) 中空知広域圏戸籍システム共同運用について (資 料) "
- (6) 滝川市防災会議条例及び滝川市災害対策本部条例の一部改正について (資 料)防災危機対策室
- (7) 民間シンクタンク「たきかわ未来会議」の設置について (資 料)企 画 課
- (8) 補正予算（ウエルカムプロジェクト）について (資 料) "
- (9) 財政健全化指標について (資 料)財 政 課
- (10) 新国際交流員着任の紹介 (資 料)国 際 課
- (11) J I C Aベトナム農村振興研修員の来滝について (資 料) "

《教 育 部》

- (12) 新滝川市活力再生プラン平成23年度実績報告及び最終報告について (資 料)教 育 部
- (13) 教育部補正予算について (資 料)教育支援課
社会教育課
- (14) 専決処分について（損害賠償額の決定） (資 料)学校教育課
- (15) 専決処分について（滝川市立開西中学校改築工事に係る工事請負契約の変更） (資 料) "
- (16) いじめに関するアンケート調査の結果について (資 料)教育支援課
- (17) 外国語指導助手（ALT）の新採用について (資 料) "
- (18) 車両損害事故について (資 料)滝川西高事務局
- (19) 國學院大學陸上競技部駅伝チーム滝川合宿について (資 料)社会教育課
- (20) スポーツクラブサンテのオープンについて (資 料) "

2. 第3回定例会以降の調査事項について～別紙

3. その他について

4. 次回委員会の日程について

- 閉 会

第17回 総務文教常任委員会

H24.8.23 (木)13:30～

第一委員会室

開 会 13:32

委員 長

こんにちは。第17回総務文教常任委員会を開会します。きのうはあんなにいい天気でしたが、きょうはやや涼しく滝川の本祭りということで、やっぱり雨が降らないとお祭りは迎えられないのだと思います。きょうは定例会前の委員会ということで、かなり案件がございます。後ほど議案関連の番号を言いますので、スムーズに進められるようよろしくお願いいたします。

委員動静報告

委員 長

それでは、本日の委員の動静ですが、委員は全員参加であります。委員外議員として清水議員、木下議員、山本議員、窪之内議員の出席を認めます。傍聴として北海道新聞を許可しております。

1. 所管からの報告事項について

委員 長

それでは、早速所管からの報告事項についてお願いいたします

○新滝川市活力再生プラン平成23年度実績報告及び最終報告について(総括説明)

高橋課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員 長

説明が終わりました。

この後質疑をお受けいたしますけれども、委員外議員については、きょうは案件がたくさんありますので、2分以内ということでお願いしたいと思います。それから、質疑をされる方は端的に何ページ、何番というような形でわかりやすい質疑をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。質疑ありますか。

渡 辺

それでは、個々の実績とか、そういう項目ではなくて、21年から23年ということであれば、これは昨年の首長の交代ということがあったはずであります。したがって、再生プラン3年間続けるということですが、首長がかわれば当然いろいろな再生プランの中もやっぱり影響を受けたと思うのですが、そういうところを庁舎内でどのような調整を行ったのか、これについて総務部長にご説明願いたいと思います。

山崎部長

市長がかわった時期が計画期間内には確かにあります。市長がかわって、新たな市長の政策そのものについては、ご存じのとおり新総合計画を策定する中で十分調整を図っております。今回の活力再生については、あくまでも活力再生するための効果額を見出すということの視点で進めてまいりましたので、それは市長がかわりましても粛々と実施してきたということでご理解いただきたいと思います。

委員 長

ほかに質疑ありますか。

柴 田

先ほどうちの会派でもちょっと再生プランの話題になったのですが、効果額がこれだけあるよといっても、本当にそのほとんどが人件費の削減が主なもので、余り他に見るべきものがないなという、そんな意見が多かったように思います。そのことはちょっと横に置いておいて、1点だけ、今申し上げた人件費のことについてお伺いしたいのですが、最終報告書の5ページ、先ほど財政課長が説明されたのですが、達成率が97.6パーセントだと、基金の還元分は100パーセントだということで、その後ちょっと言い方が間違っていたのではない

高橋課長

かなと思うのですが、効果額に含めていませんが、職員数が計画を下回ったということなのです。要するに、基礎的な数字が計画の数字よりも下回ったので、それで人件費の効果額達成率が下回ったというように聞こえたのですが、まず1点、そのことについてもう一度説明していただきたいのですが。

活力再生プランの効果額の算定につきましては、以前からご指摘のある部分でもあるのですけれども、平成20年度との比較の事業費なり費用なりで比較をしているということでございますので、効果額について職員数が下回った部分でありますとか、人事院勧告の部分でありますとか、そういう部分を含めた形で算出をさせているということでございます。ですから、昨年もお質疑があったのですが、純然たる効果額というのはどうなのだという話があったのですけれども、それについては活力再生プランの効果額の出し方がそういう形でセットされた中で23年度まできているということで、ご指摘の趣旨は非常によくわかるのですが、取りまとめの形としてはそういう形で取りまとめをさせていただいているということでございまして、ご理解をお願いをしたいということでございます。

柴田

理解はしているのですが、こうやって数字出してしまうと勘違いしてしまうのです。要するに未達成だと、金額としては比較して97.6パーセントですか、そういう数字だから、2.4パーセント達成していないように見えてしまうのです。ところが、人件費総体としては人員が353人に対して344人になっているわけですから、その人件費部分というのは効果としてあらわれているはずなのです。確かにタッグ計画の取り組みとしてあらわれた効果ではないとしても、この年度中に間違いなくこの効果が上がっているのに、その数値があらわれてきていないということは何故人件費の削減を手ぬるくやっているような印象を議会に対して与えるものであるものですから、数字として載せるのはいいのだけれども、説明としては数字まで言わなくてもいいけれども、本当は言っていたほうが我々としてはわかりやすい。これだったら未達成に見えてしまうので、そのことだけ何とか、これだけ努力した結果なのですから、それを反映した数字をやはり公表できるような、そういう考え方を持っていただきたいなど。財政課長の言っていることはわかるのだけれども、こうやって出したら、本当の数字が表に出てきていないというのはちょっとまずいと思うものですから、その点だけ、今すぐこの書類をこう書きかえろということができないですから、一応私からの要望ということで受けとめておいてください。

委員長
渡邊

ほかに質疑ありますか。

大変長期間にわたって再生プランということでやってきたことに敬意を表したいなと思っています。そこで、その取り組みということでうたっています改革と改善、この意味合いがちょっと、私的には内容を見るとほとんど改善でないかと、改革となれば改めてやり直すという考えを持つべきかなと、今さら言ったらあれなのだけれども、この辺についてこの6年なり7年近くやってきた中身でほとんど改善をやってきた。改革とは何を改革したのかというのがあれば説明願いたいと思います。

山崎部長

うまく説明できそうもないのですけれども、改革と改善というのはそれぞれ一体といたしますか、関係を持ったものだというふうには理解しています。改善の要素が大きいもの、あるいは改革の要素が大きいものが入りまじった中で少しでも効果を出したいということの整理を行ってきていますので、どれが改革で

渡 邊

とかという部分については、今お答えしかねるのですけれども、そういった意味合いであるということでは何かご理解いただきたいなと思います。

高橋課長

やってこられたことは、もう重々わかります。先ほど柴田委員さんが言ったように、やっぱり人件費という部分の数字上の合わせが、そもそも保護費の関係から始まった部分の関係があったのか。それで、1点なののですけれども、三セクの事業ですか、最終報告書の8ページの10番目で三セク等の改革というふうになっている。確かに土地開発公社については改革という言葉が当てはまり、これらの数字が決算で出てきます。これらを最終的に滝川市全体として連結で見ると、そういう考えは、数字上は出てこないし、そういう考え方はそもそももないのだけれども、そういう考えを持たないと滝川市の財政状況というのは把握できないのではないかなと思うのですが、その点についてはどうですか。23年度の実績報告の8ページのほうに第三セクターの借り入れ残高の状況というのを年度別に載せさせていただいておりますけれども、今お話のあった連結ということもあるのですけれども、滝川市から短期貸し付けをしている分については、ここであるように活力再生プランの中で確実に減少させてきているということでご理解をいただきたいなというふうに思っております。以上です。

渡 邊

関連なののですけれども、財政健全化法という法律の中でやっぱり早期健全化、全体的な財政を目指しなさいよという項目があると思うので、そこに沿った形でいろんな改善、改革というふうにしてやってこられたと思います。これらを三セクとあわせて今後進めていかなければならないと思うのですけれども、そこら辺について財政健全化法とあわせてどういう方向というか、一応検証という意味で聞きたいと思います。

高橋課長

この後総務部のほうの説明がありますが、財政健全化指標についても後ほど説明をいたしますけれども、その中の将来負担比率というのがございまして、将来負担比率の中に第三セクター等の損失補償を受けて借り入れた債務残高を連結で載せることになっておりますが、滝川市としてはその部分の該当は現在のところはない状態でございますので、財政健全化指標の中に反映をされてはいません。ですから、そのあたりは指標自体がそういうつくりでございますので、滝川市としては本来であればそういう短期貸し付けも含めた形で指標を出せるようにするほうがいいかなというふうには思っておりますけれども、この指標については国のほうで決まっているという部分もございまして、一応そういう形では連結的に見せる部分というのはないということでご理解を願いたいと思います。

委 員 長
副委員長

ほかに質疑ありますか。

再生プランなのだけれども、私は非常に一生懸命やったと思う。それで、ただバランスをとるということについては非常によくやったと思うのです。滝川の財政については、僕は絶対この周辺の市町村に比べてそんなに悪くないと思う。それで、一番視点で欠けているところは、無から有を生むという感覚なのです。ということは、改革して減らす。減らせ、減らせの大合唱だが、世の中そうではない。それと、やっぱり再生をしなければならないのです。その視点と何に重点を置くのだという、これがトップの考え方、戦略だと思う。そこで、さっきの説明を聞いた中で再生、8ページ、一番苦手なところだからさっと流したのでないかと思っているが、この再生、どこに重点を置いたのだという

ころなのだ、総務部長。これは市長に答えてもらわなければならないかもしれないけれども、そういうことなのです。今みんな国もそうなのだけれども、全部減らせばいいのかという問題になっている。そうしたら、ここに書いてあるでしょう、再生戦略、白鵬を呼んだとか、白鵬米だとか、この下に畜産試験場跡地対策で1企業が来たと、1企業が来るぐらいではだめなのだ。21年に760万円、22年に1,400万円ぐらいの金をかけているでしょう。その効果があらわれてこなければならぬのです。再生というものがどこに重点を置いてきたのかと。一番最後のほう見たら、病院あるでしょう。病院建てたらだめだなんて言った人もいたけれども、そういう中で現実的に再生してきたと、そういうものをどうしてここに出さないの。さらっと今高橋課長は言ったけれども、これが大事なのだ。その辺のところをもうちょっと、何を再生してきたのかということ、そこを伺いたい。

山崎部長

何もしてこなかったということではなくて、ご存じのとおり白鵬なら白鵬とか、子育ての関係もさまざまな施策、市長の提言を含めて実施してきております。この計画については平成23年までで、やめるものはやめて再生するものは再生するという事の中で23年度いっぱい一応完結と。それ以降については、まさに今言ったようなことについては先ほど触れました新総合計画の中できっちり再生戦略というものをうたっているというふうには自負しております。ですから、そういったものについて何も重視していないということではなくて、この計画ではないですけれども、総合計画という場の中で実践していくというのが市としての整理の仕方ということでご理解いただければと思います。

委員長

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、この件について報告済みといたします。

次、1番、新滝川市活力再生プラン平成23年度実績報告及び最終報告についてお願いします。

(1) 新滝川市活力再生プラン平成23年度実績報告及び最終報告について

庄野部長

(別紙資料に基づき説明する。)

鎌田課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

1番について報告済みといたします。

次、2番、公の施設の指定管理者の公募についてお願いします。

(2) 公の施設の指定管理者の公募について

井上支所長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

2番について報告済みといたします。

次総務部に入ります。入れかえのため休憩します。

休 憩 14:16

再 開 14:17

委員長

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

総務部に移りますが、議案関連の案件の番号を言いますから、チェックしてください。5番、6番、8番、9番、13番、14番、15番、以上でございます。議案関連については、質疑に留意していただきたいと思います。

3番、新滝川市活力再生プラン平成23年度実績報告及び最終報告についてお願いします。

(3) 新滝川市活力再生プラン平成23年度実績報告及び最終報告について

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

3番について報告済みといたします。

次、4番、地域主権改革一括法の施行に伴う関係条例の制定改廃についてお願いします。

(4) 地域主権改革一括法の施行に伴う関係条例の制定改廃について

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

4番について報告済みといたします。

次、5番、中空知広域圏戸籍システム共同運用についてお願いします。

(5) 中空知広域圏戸籍システム共同運用について

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ありますか。

この間も聞いたのだけれども、このバックアップのシステム関係、これはどの程度まで考えているのか。そして、このサブバックアップというのは、どの程度の災害のことを考えて、どこに置こうとしているのか伺います。

バックアップにつきましては、滝川市に置くサーバーについては、サーバー本体にテープといいますか、別な媒体でバックアップをとりまして、それを別保管をして、サーバーに何かがあってもすぐ戻せるような形はとるということで今準備はしております。ここに書いてあるサブバックアップというのは何かといいますと、札幌のデータセンターですとか、そういうところに同じものを移しておきまして、もし滝川にアクセスができなかった場合、4市5町がそちらにアクセスをする仕組みを設けるかどうかということを今準備をしております。災害なんかの関係は、どのように考えているのか伺います。

災害につきましては、この建物が震度6以上の地震に耐えられるということがまず1つございます。他市におきましては、余り建物の状況含めてよくありませんので、滝川市にサーバーを置くというお話をまずさせていただいております。それと、停電含めましてこの庁舎は地下のほうに自家発電を持っています。あわせてバッテリーも併設しておりますので、まず我々のほうのサーバー室に対して停電等が起こることがない設備を持っております。これは、札幌なんかのデータセンターとほぼ同じレベルの設備を実は持っておりますので、よほど直下型で物すごく大きな地震がない限り、そこは大丈夫だというふうに考えております。念のためのバックアップとして、データセンターのほうをどのよう

委員長
木下委員外議員
委員長

木下委員外議員

田上室長

委員長

委員長

松澤室長
委員長

副委員長

橋本副主幹

副委員長

副委員長
橋本副主幹

副委員長
橋本副主幹

委員長

委員長

稲井副主幹
委員長

稲井副主幹
委員長

6

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委 員 長

7 番について報告済みといたします。

次、8 番、補正予算（ウエルカムプロジェクト）について、企画課お願いいたします。

（8）補正予算（ウエルカムプロジェクト）について

大橋主査

（別紙資料に基づき説明する。）

委 員 長

説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委 員 長

8 番について報告済みといたします。

次、9 番、財政健全化指標についてお願いします。

（9）財政健全化指標について

高橋課長

（別紙資料に基づき説明する。）

委 員 長

説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委 員 長

9 番について報告済みといたします。

次、10 番、新国際交流員着任の紹介をお願いします。

（10）新国際交流員着任の紹介

山内課長

（別紙資料に基づき説明する。）

リオン国際交流員

こんにちは。ジャスティン・リオンと申します。カナダのアルバータ州のカルガリー市の出身です。お母さんは香港出身で、お父さんはシンガポールの出身なのですけれども、自分はカナダです。この前2 年間、外国語指導助手としてオホーツクの湧別町で働いていて、非常にすごくいい経験でしたが、もっと人と直接触れ合いたいという気持ちがあって、これから1 年間滝川市で国際交流員として働きたいと思います。よろしくお願いします。

委 員 長

ありがとうございます。

よろしいですか。

山内課長

私が話すと余計な話になるので、以上でございます。さまざまな場面で活用いただければと思いますので、よろしくどうぞお願いします。

委 員 長

よろしくお願いします。

10 番について報告済みといたします。

次、11 番、JICA ベトナム農村振興研修員の来滝についてお願いします。

（11）JICA ベトナム農村振興研修員の来滝について

山内課長

（別紙資料に基づき説明する。）

委 員 長

説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委 員 長

11 番について報告済みといたします。

この後教育部がございすけれども、まだ大分時間がかかりそうなので、15 時15 分まで休憩といたします。

休 憩 15：02

再 開 15：17

委員 長 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。
12番、新滝川市活力再生プラン平成23年度実績報告及び最終報告についてお願いします。

館 部 長 (12) 新滝川市活力再生プラン平成23年度実績報告及び最終報告について
委員 長 (別紙資料に基づき説明する。)
説明が終わりました。
質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員 長 12番について報告済みといたします。
次、13番、教育部補正予算についてお願いします。

(13) 教育部補正予算について
吉川課長 (別紙資料に基づき説明する。)
竹谷課長 (別紙資料に基づき説明する。)
委員 長 説明が終わりました。
質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員 長 13番について報告済みといたします。
次、14番、専決処分について（損害賠償額の決定）お願いします。

(14) 専決処分について（損害賠償額の決定）
中川課長 (別紙資料に基づき説明する。)
委員 長 説明が終わりました。
質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員 長 14番について報告済みといたします。
次、15番、専決処分について（滝川市立開西中学校改築工事に係る工事請負契約の変更）についてお願いします。

(15) 専決処分について（滝川市立開西中学校改築工事に係る工事請負契約の変更）
中川課長 (別紙資料に基づき説明する。)
委員 長 説明が終わりました。
質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員 長 15番について報告済みといたします。
次、16番、いじめに関するアンケート調査の結果についてお願いします。

(16) いじめに関するアンケート調査の結果について
吉川課長 (別紙資料に基づき説明する。)
委員 長 説明が終わりました。
質疑ありますか。

渡 辺 今ありました平成24年5月の「今もいじめられている」4パーセントと次の裏の集計の3番のところ、これよく読んでいないのだけれども、ここでのいじめられているという率の41パーセントでしたか、この関係はどういう関係でしたか、これの説明をお願いします。

吉川課長 今もいじめられていると答えている108人のうち、そのうち44人は今もということで答えた。この分析をしたものであります。

渡 辺

数字はわかりました。それで、日本じゅうでまた今いろいろな問題になっているというようなことで、任意で氏名を記入させているというようなことで、将来的にそういうような事件、事故、そういうものにつながるような事柄をこういう中から推測ができるとか、そういうものというのがあるものなのか、ないものなのかという、そんな分析はどうなっているかという、これについて説明をお願いします。

四十九院指導参事

お尋ねの件ですけれども、この調査につきましては言ってみたら一つの現象としてとらえると、そのほかについて、先ほど課長のほうからも申しましたようにアンケートを提出していない子供を含めて、この機会に全員についての面談をすると、その中で現状はどうか、それから困っていることはないのか、そういうようなことについてきめ細かくすることを滝川市では一番重要視しておりますので、その点については把握はかなりの頻度で行われていると思っております。それから、8月に文科省のほうから緊急調査が行われております。これにつきましては、年間北海道では2回行われていますが、それにプラスして緊急でもう一回してくださいという形で行われております。これにつきましては、現在学校のほうで取り組んでおりますので、市教委としましては市で行っているいじめ調査と同じように、やはり面談をする中で、今実際に困っている子がいないのかと、そういうことについて十分な把握をして、それに対する対応をとっていききたいというふうに考えております。

委 員 長
副委員長

ほかに質疑ありますか。

滝川市は、過去の大きな教訓の中でいろいろこれに対しては一生懸命やってきたと思う。ゼロということは難しいと思うのだけれども、我々はこれをどういうふうに見たらいいのかなと思って、16パーセントというそのままの数字で、もし深刻な状況の人がいるとなれば、我々の過去の教訓が生かされていたのかどうかということにもなってくるものだから、特にその現場を経験してきた四十九院参事、この状況というのはふだんでもこういう状況だったと言ったら変ですけれども、滝川が16パーセントというのは非常に大変な状況なのか、あるいはまたこれは指導面でやればこの半分にできるのだとか、何かその辺がちょっと我々もわからないのです。実際の現場のこれがどういう状況なのかと、その辺について四十九院参事どういうふうにとらえているのか、率直に。これが深刻なことにつながっていったら、また滝川市の教育は大変だと思うのです。だから、その辺どうなのか伺います。

四十九院指導参事

今の委員のお尋ねの中身ですけれども、まず16パーセントをどのようにとらえるかということにつきましては、数字の多い、少ないでとらえることについては非常に受け取りの難しさがございます。これはいじめの定義がいじめを受けたというふうにその子が感じていれば、それはいじめとするのだということになりましたので、例えば非常に小さなことでもいじめにすると、その子がそう感じたら、いじめにする。だけれども、周りから見たらいじめだと思うことでも、その子がそう感じていなかったら、いじめにしないというように単なる数で追っていった場合につきましては、16が多いのか少ないのかということの判断は非常につきかねるのではないかなというふうに思います。ですから、滝川市としましてはその内容について十分吟味する中で対応することが大切だと。この16パーセントの内容につきましては、もちろん学校としては十分対応し、保護者との関連を図りながら対応していくということはもちろんです。ですけ

れども、この16にあらわれていないほかの数字につきましても、やはりふだんでもいじめはあるということを前提に置いて、子供が困らないような体制づくりを全校体制で行うのだと、そういうような取り組みをすることが大切だというふうに考えております。毎月滝川市の教育委員会で各学校のいじめの状況の調査をしておりますが、このごろ非常に少ない数字が出てきておりますが、これで安心するということは教育委員会では考えておりません。常にいじめは現場で起きている。子供たちは、嫌なことをされたとか、嫌な思いをしているということがある。その中で、やっぱりそれに対して学校として全体として保護者と協力しながら、どのように取り組んでいくかということをこれからも常に考えていきたいなというふうに考えております。

副委員長

それで、緊急調査が8月に行われたということで、今全国的に問題になっている滋賀だったか、そういう中から出たのだと思うのだけれども、そういう調査の報告、結果、そういうものがどういうふうに滝川市にフィードバックされているのか、それで今の16パーセントというのがそういうものの中で比較対照ができるのか、その辺の関係と、先ほどの家に持っかえって書かせたということで、親と一緒に書いて書いた結果なのか、子供たちだけの主観的な結果なのか、その辺親がそう思っているとなったら、またいろいろこの数字の見方も違ってくるのではないかなと思いつながら聞いていたのだけれども、その辺の客観的に見て滝川市の16パーセントというのはどうなのかという、またそれに比較できるような調査事項なのか、調査のやり方なのかということも含めてもう一回説明願います。

四十九院指導参事

調査の方法につきましては、今回の文科省の緊急調査につきましては滝川市の方法と違いまして持ち帰る方法をとっておりません。今回の調査結果によって、滝川市のパーセントが多いか少ないかというのを全国的に比べることは可能かなと思います。けれども、滝川市が一番大事にしているのは、先ほど委員がおっしゃられましたように、特に低学年に多くなりますが、学校で嫌なことがないのかということを保護者と一緒に考えてもらう、このことを非常に大切にしております。ただ、高学年につきましては、保護者と一緒にやっているかどうかの確証はとれておりません。ただし、うちへ持って帰ることによって、自分一人でじっくり今の自分の状況を考えたときに困った点があるのか、悩んでいる点があるのかということをも自分一人でじっくり考えていくことが大事なかなと思っております。学校で一斉に行うことでは、やはりその中で自分の心と向き合うことはなかなか難しいのではないかなと。ですから、滝川がうちへ持って帰ることについてこだわっていることについては、今後にも必要なことではないかなというふうに考えております。

副委員長

その緊急調査の結果というのは、滝川市にフィードバックされて、ちゃんと比較検討したものが今来ているのか伺います。

吉川課長

現在緊急に調査しているアンケートは8月中の実施ということで、結果報告は9月になって、その後集計データはいただけるものというふうには思いますので、その中をまた見ながら検証はしていきたいと思っております。一方で、ただいま報告しました道内全部で行っている今回の例えば5月調査、この後11月にも行われますけれども、それについては空知管内の数字ということで空知教育局からデータはいただいております、その点について1つ申し上げれば、例えば先ほど私が報告した今もいじめられていますかというようなことに関しての管

内での数字は小学校が6.5パーセント、中学校が2.3パーセントというようなことになっているというような、そんな情報もいただいておりますので、こんな数字なんかも分析しながら調査を進めていきたいとは思っております。

以上です。

副委員長
吉川課長

今の管内の数字と比べて滝川市の状況はどういう位置にあるのか伺います。
これは、23年度の調査結果でありまして、去年の5月の調査結果です。管内の小学校が先ほど申し上げた6.5パーセント、本滝川市は3.7ということになっているところですよ。中学校でも2.3パーセントですので、本市は1.9パーセントということになりますから、小数点1位まで出しております、先ほどの切り上げになっておりますから、若干見た目の数字は違うように見えますけれども、1位まで出せばそういう状況ですので、管内よりも小も中もいじめられていると訴える子は少ないという状況にはなります。

以上です。

委員長
柴田

ほかに質疑ありますか。

別に質疑しようと思っていなかったのだけれども、ますますわけがわからなくなってきたので、聞いておきたいのですけれども、数字がどこまでどうなったら何が問題になるのですか。先ほどの参事の話の聞くと、数字というよりも実態としてどういう実態があるのかということが現場としてしっかり把握できるということが大事なのだと。例えばこれが19ポイントが23ポイントになったからといって、いじめの実態がつぶさにわかるわけではないのだと。だから、これを定期的にやることによって教師が児童あるいは生徒とその実態について、何らかの生徒がサインを出す場合もあるだろう、あるいは家庭からのサインが出る可能性もあるだろう、そのきっかけをしっかりと失ってはいけないから、こういうものは定期的にやっていこうと。中身の数字を出されて23年の5月に19パーセントだったのが28パーセントにはね上がったからという話を聞いてもわからないので、そこら辺の数字を出されるよりも、次から概要的なもの、あるいは特徴的なもので、委員からどうしても必要だということで求められるのであれば、これは数字はまとまっているのだから、それは公表するような形にして、何か特徴的なもので言っていたかないと、これがいじめを見たり聞いたりしたことがある人たちが80パーセントになったら、これは大変なことかもしれないのだけれども、ただそれは単なるじゃれ合いが80パーセントにはね上がったかもしれないし、そこら辺の公表の仕方やら何かもう少し教育委員会としてお考えをいただきたいなと思いますので、これはまた要望で申しわけないのだけれども、要望ということで受けとめておいてください。

委員長

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

16番について報告済みといたします。

次、17番、外国語指導助手（ALT）の新採用についてお願いします。

(17) 外国語指導助手（ALT）の新採用について

(別紙資料に基づき説明する。)

吉川課長
委員長

説明が終わりました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員長

17番について報告済みといたします。

次、18番、車両損害事故についてお願いします。

(18) 車両損害事故について

赤松事務長
委 員 長

(別紙資料に基づき説明する。)

専決処分ではありませんけれども、事故の報告ということで先に報告いただきました。

質疑ありますか。

(なしの声あり)

委 員 長

18番について報告済みといたします。

次、19番、國學院大學陸上競技部駅伝チーム滝川合宿についてお願いします。

(19) 國學院大學陸上競技部駅伝チーム滝川合宿について

竹谷課長
委 員 長

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ありますか。

柴 田

質疑ではないのですが、参加者名簿、これは危ないのではないですか。幾ら議会でも、学籍番号がついているようなものは出すべきではないと思うのですが、資料については適切に取り扱うようにお願いします。

竹谷課長

大変申しわけございません。今後につきましてはこれを削除させていただきたいと思います。回収させていただいてよろしいですか。後ほど抜いた名簿をお渡しをさせていただきます。

(「名前と学年ぐらいでいいのだ」と言う声あり)

竹谷課長
委 員 長

大変申しわけございません。

ほかに質疑ありますか。

窪之内委員外議員
委 員 長

経済効果についてお聞きします。

窪之内委員外議員の質疑を許可してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

窪之内委員外議員

1点だけ。この期間に滝川に落ちるお金というのか、総予算的なものはどれぐらいの経済効果が滝川に生まれるのかという質疑です。

竹谷課長

市の予算は100万円となっています。これは、一部補助をする部分も入ってございます。このほかに、当然國學院独自の費用ということで200万円から300万円ぐらいが落ちる可能性があるのかなというふうに考えてございます。

以上でございます。

委 員 長

ほかに質疑ありますか。

木下委員外議員

宿泊先についてお聞きします。

委 員 長

木下委員外議員の質疑を許可してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

木下委員外議員

宿泊先はサイクリングターミナルなのですか、確認だけです。

竹谷課長

2の③のほうに書かせていただいておりますが、サイクリングターミナルということでございます。

委 員 長

ほかに質疑ありますか。

副委員長

この予算というのは100万円ですか。

(「100万円だった」と言う声あり)

副委員長

滝川市の予算が100万円なのですか。

竹谷課長

滝川市で補助をします予算につきましては、100万円の予算を持っております。

(「去年同様ですね」と言う声あり)

竹谷課長 去年同様でございます。
委 員 長 ほかにありますか。
(なしの声あり)
委 員 長 19番について報告済みいたします。
次、20番、スポーツクラブサンのオープンについてお願いします。
(20) スポーツクラブサンのオープンについて
(別紙資料に基づき説明する。)
竹谷課長 説明が終わりました。
委 員 長 質疑ありますか。
(なしの声あり)
委 員 長 20番について報告済みいたします。
2. 第3回定例会以降の調査事項について～別紙
委 員 長 第3回定例会以降調査事項について別紙調査項目のとおり確認いたします。
(異議なしの声あり)
委 員 長 別紙調査項目のとおり決定いたします。
3. その他について
委 員 長 その他についてありますか、事務局。
(なしの声あり)
委 員 長 委員からその他についてありますか。
(なしの声あり)
4. 次回委員会の日程について
委 員 長 次回委員会の日程については、正副委員長に一任いただくということによろしいですか。
(異議なしの声あり)
委 員 長 それでは、以上で第17回総務文教常任委員会を閉会いたします。
どうも大変ご苦労さまでした。
閉 会 16:17